

二条中通信

第 21号
二条中学校
H20.10.31
文責：直江秀樹

*【学校教育目標】 学ぶ楽しさを実感し、夢を持ち夢を実現するために努力する生徒の育成

今年も折り返し点通過



[終業式] 10月24日(金)

10月27日(月)から、後期がスタートしました。前期の終業式で1年の節目であるとともに、後期をもっとすばらしいものにしてほしいと願いを込めて2つ話をしました。

1つ目。学校の中心が3年生から2年生へと、がちり引き継がれたことです。1年生は、年が明けたら先輩になります。それぞれ、学年にふさわしい人へ成長してほしい。

2つ目。空に浮かぶ月を眺めて、昔の人は『竹取物語』など空想の物語を作り出しました。ところで、平安時代の人はもちろん、この数十年前まで、宇宙から地球を眺めることができるなんて思いもよらなかったでしょう。しかし、今の科学技術の進歩はそれを可能にしました。人が空を飛べたらいいなと思った人もたくさんいました。宇宙はどんなところだろうと思った人もたくさんいました。しかし、ほとんどの人は、人間が空を飛び、宇宙がどんなところかは空想するだけだと思っていました。しかし、多くの人が不可能と思っていたことでも、「必ずできる」と信じて何度も失敗を繰り返しては、夢の実現にかけた人々がいたのです。その人がいたから、実現しました。先生が言いたいのは、君たちには夢を持ってほしいと言うことです。勇気を奮い起こして、自分の希望あふれる夢を実現する努力を持続してほしいと思います。君があきらめない限り、可能性がないとは誰にも言えないからです。すばらしい文化祭ができたみんなです。迷ったり、不安になりながらも、友達と助け合って、少しずつ前に前に進んだから出来ました。努力は嘘をつかない。努力の人、勇気の人こそ二条中学校の君たちでいてほしいと思います。

[進路保護者会] 10月27日(月)

3年生と全学年保護者対象に、高校の先生を講師に迎えて「第2回 進路説明会」を開催しました。公立・私立高校それぞれの特徴と学習の心構え。将来の進路についての考え方など、堀川高校荒瀬克己校長先生・両洋高校青木雅人教頭先生が話をしてくださいました。お二人とも、将来なりたい自分を目指して、誰もが持っている自分の[実力]を、精一杯発揮してほしい。簡単で、安易な目標ではなく、各高校の教育方針・建学の精神等をしっかり見極めて、自分の将来を真剣に考えた上で高校選択をしてほしいと言われました。

荒瀬先生は、4つの「C」の話を通し今から受験勉強に入る3年生を激励されました。CHECK(チェック)・・・自分自身をよく調べる。何がしたいと思ってるか。CHALLENGE(チャレンジ)・・・挑戦する。自分の中で何かが変わる。CHANGE(チェンジ)・・・変わる。気づく。大きく変わる。CHANCE(チャンス)・・・誰もが持つ可能性。実現できる機会を持つ。

[生き方探究・チャレンジ体験保護者説明会] 10月28日(火) いよいよ2年生が42事業所へ11月10日から5日間お世話になります。二条中学校のこれまでの先輩が、苦労しながらも生き生きと勤労体験を積んできました。君たちは、学校では味わえない「人生」に触れるまたとない機会。保護者の皆さん、どうかしっかり後押しをお願いします。あいさつ・言葉遣い・服装など、コミュニケーションをうまくとれるよう、今から意識してください。



[生徒会本部役員選挙活動] 10月30日(木)から

3年からバトンタッチ。11月5日は生徒会役員選挙。届出を済ませた生徒が、早朝から正門付近で登校する仲間たちに「あはようございます」「よろしくお願いします」と、声をかけて自分をアピールしています。当日まで、じっくり公約などを聞き、二条中学をさらに素晴らしい学校にしていく生徒会役員を選んでください。二条中の未来のために勇気を持って立候補したみんな、ありがとう!!(写真上)